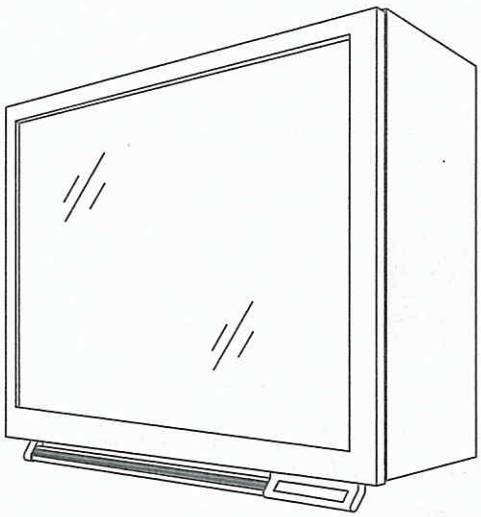
タカラ 電動昇降吊戸棚　W-MES90N(S)
設置説明書



もくじ

1．設置をされる方へのお願い……1
2．安全上のご注意……1
3．設置前の確認……3
4．同梱部品の確認……3
5．取付け場所の確認……4
6．接地工事……5
7．漏電遮断器の設置……5
8．本体の取付……5
9．電気配線……7
10．扉の取付……8
11．扉・扉ガイドローラーの位置調整9
12．キッチン設置部材の取付……10
13．試運転……10
14．外形寸法……11

1．設置をされる方へのお願い

●キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。

●設置作業は、必ず二人以上で行ってください。

●設置前に電気配線工事が必要です。あらかじめ行ってください。

●電気配線工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規定」に準じ、電気工事登録業者に依頼してください。

●本説明書は、電動昇降吊戸棚のものです。その他のキャビネットおよびビルトイン機器・水栓金具は、それぞれに添付する設置説明書をご覧いただき、正しい設置を行ってください。

●設置完了後、試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

●本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。また、この設置説明書も必ずお客様にお渡しください。

2．安全上のご注意

必ずお守りください。

●設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

●表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 警告

壁の強度と補強桟の位置および強度を確認し、付属ねじを使用してください。ねじはゆるまないように壁に最後まで確実に固定してください。

ねじ打ち部分に補強桟がなかったり補強桟の強度が不足している場合や、ねじ打ちが不十分な場合、製品が落下し、けがの原因となります。

設置範囲（ガス器具近く）については、地域の火災予防条例等に従ってください。

製品の熱変形や火災の原因となります。

万一のときの安全のために、漏電遮断器を設置してください。

火災・感電の原因になります。

電気配線工事は必ず電気工事登録業者に依頼してください。

火災・感電の原因となります。

電源は交流100Vで定格15A以上の専用回路を使用してください。

火災・感電の原因となります。

アース工事を必ず行ってください。ただし、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

感電の原因となります。

電源ケーブルを傷つけたり・引っ張ったり・ねじったり・たばねたり・重いものを載せたり・挟み込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。

電源ケーブルは確実に接続してください。

火災の原因となります。

設置作業で必要なところ以外は絶対に分解したり修理改造はしないでください。

火災、感電、けがの原因となります。

本体が設置スリーブに確実に引っかかっていることを確認してください。

製品が落下し、けがの原因となります。

⚠ 注意

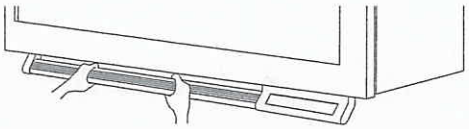
扉を無理に開けないでください。

故障の原因となります。（昇降棚が最上部にある場合は耐震ロック機構がはたらいていますので僅かしか開きません。）

本体を壁に取付ける前に昇降動作をしないでください。

製品に傷がついたり、動作不良などの故障の原因になります。

設置時は操作部横のバーを持たないでください。



製品が破損する恐れがあります。

設置完了後、扉の丁番がしっかり固定されているか必ず確認し、ゆるんでいる場合は取付けなおしてください。

扉が脱落してけがをする恐れがあります。

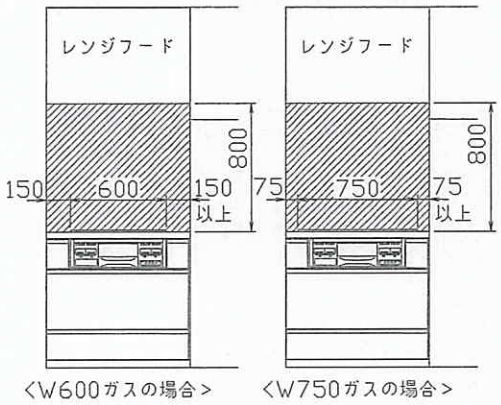
本体と天井の間に幕板を取付ける場合は、本体と幕板をねじなどで固定しないでください。

修理・交換ができなくなります。

本体が斜めになっていないか確認してください。

動作不良などの故障の原因となります。

3. 設置前の確認



●火災予防条例（東京都）では、左図の斜線内に可燃物があってはならないと規定されています。斜線内には設置しないでください。なお、これ以上に規制されている地域もありますので、地域の条例に従ってください。

●昇降部分の下に物が設置されていないことを確認してください。

●下部に加熱機器（ガス、電気器具等）が設置されていない場所であることを確認してください。

●湿気の高い場所・屋外に設置されていない場所であることを確認してください。

4. 同梱部品の確認

●設置作業をされる前に商品の損傷がないこと、同梱部品がそろっていることを確認してください。

＜アルミ枠扉仕様の場合＞

●扉は耐震ロック機構が働いていますので僅かしか開きません。無理に開けないでください。

<table>
<tr><th colspan="5">キャビネット組付部品</th></tr>
<tr><td colspan="2">棚板

1枚
※昇降棚内にテープ貼りされているため、試運転時に確認ください。</td><td colspan="2">水受けトレー

1個
※昇降棚内にテープ貼りされているため、試運転時に確認ください。</td><td>ランプカバー

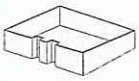
1枚
※昇降棚下部にテープ貼りされています。</td></tr>
<tr><th colspan="5">付属部品（袋にはいっています）</th></tr>
<tr><td>設置スリーブ

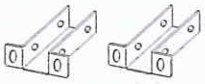
2個</td><td>皿タッピンネジ
4.5×60

2本</td><td>トラスタッピンネジ
4.5×60

4本</td><td>取扱説明書
1冊</td><td>設置説明書
1冊</td></tr>
</table>

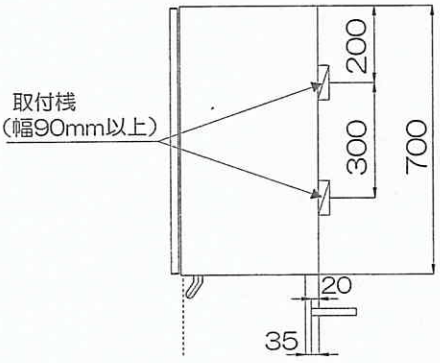
＜ガラス扉（扉別梱包）仕様の場合＞

キャビネット組付部品		
棚板 1枚 ※昇降棚内にテープ貼りされているため、試運転時に確認ください。	水受けトレー 1個  ※昇降棚内にテープ貼りされているため、試運転時に確認ください。	ランプカバー 1枚 ※昇降棚下部にテープ貼りされています。

付属部品（袋にはいっています）				
設置スリーブ 2個	皿タッピンネジ 4.5×60 2本	トラスタッピンネジ 4.5×60 4本	ナベ小ネジ(ワッシャ付) M4×20 4本	トラス小ネジ M4×10 4本
バンポンクッション 2個	扉ガイド受け  2個	扉ガイドローラー 2個	取扱説明書 1冊	設置説明書 1冊

5．取付け場所の確認

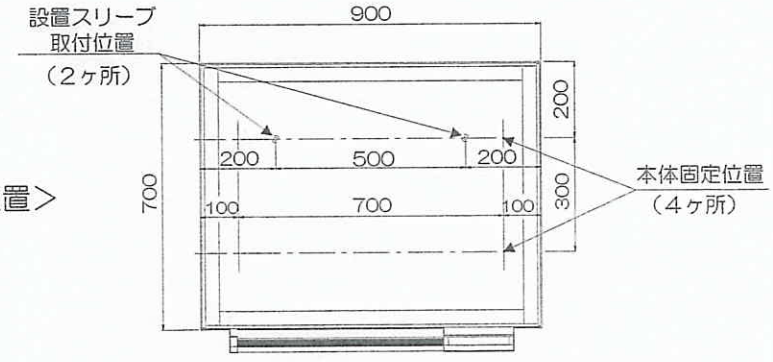
【1．本体取付場所の確認】



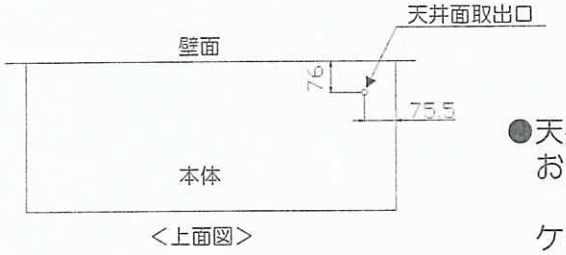
●取付桟の位置および強度を確認してください。不具合があれば修正してください。
（製品庫内に収納物を入れると、総重量は約70kgとなりますので取付け強度は総重量の3倍を目安としてください。）

●サッシ等の窓枠の突出寸法は20mm以下にしてください。
（昇降棚を下降させた場合にあたる恐れがあります。）

＜壁面取付位置＞



【2．電気配線の確認】



＜上面図＞

●天井面の左記の位置に取出口を設け、ここから電源ケーブルおよびアース線を約1m引出します。
電源：交流100V　定格15A以上
ケーブル：VVFケーブル（φ1.6またはφ2単線）

6．接地工事

●漏電による感電事故を防止するために、必ずアースを設けてください。
●アース工事は、電気工事士の有資格者がD種（第三種）接地工事するよう法令で定められています。
●アースは他の電気器具と共用したり、ガス管、水道管への接続は危険ですので絶対におやめください。
●接地工事終了後は必ず接地抵抗を確認してください。

7．漏電遮断器の設置

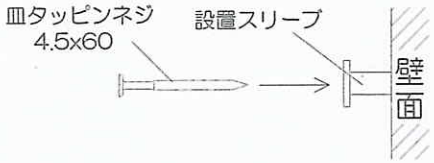
●万一のときの安全のために、漏電遮断器を設置してください。
●接地工事および漏電遮断器の設置は、「電気設備技術基準」および「内線規定」に従ってください。

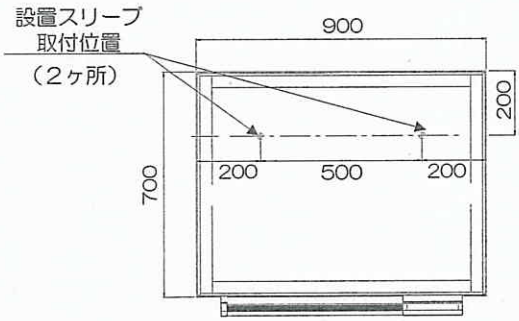
8．本体の取付

【1．設置スリーブの取付】

●付属の設置スリーブを皿タッピンネジ（4.5×60）で右図の位置に確実に取付けてください。

注）設置スリーブは下図の向きで取付けてください。





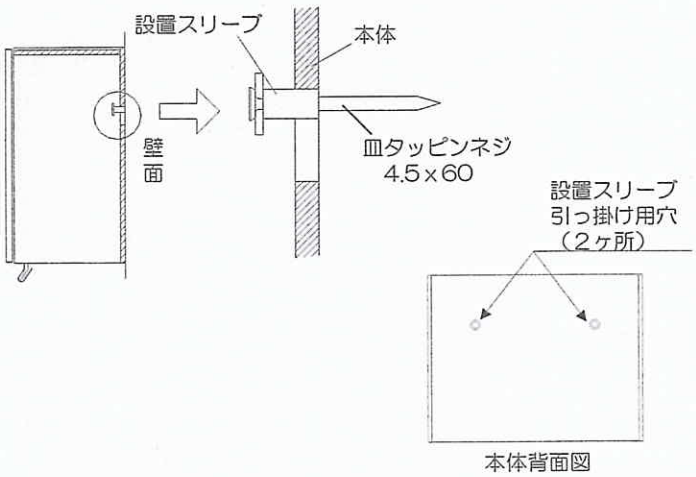
【2．本体の取付】

●本体を設置スリーブに確実に引っかけます。

⚠ 警告

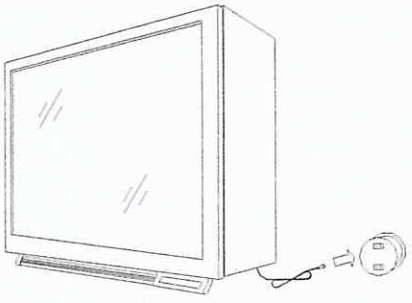
本体が設置スリーブに確実に引っかかっていることを確認してください。

製品が落下し、けがの原因となります。



【3．仮設プラグの接続】

●本体に接続されている仮設プラグをコンセント（AC100V）に接続します。



お願い

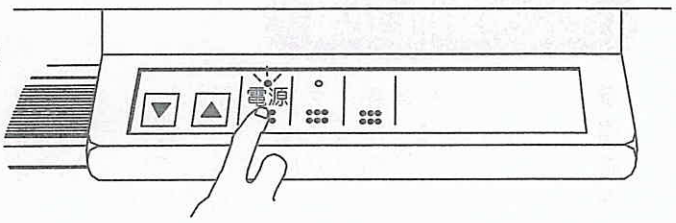
●仮設プラグは昇降範囲内にはいらないように接続してください。
（昇降範囲は 14．外形寸法 を参照してください。）

●コンセントはAC100V以外には絶対に接続しないでください。

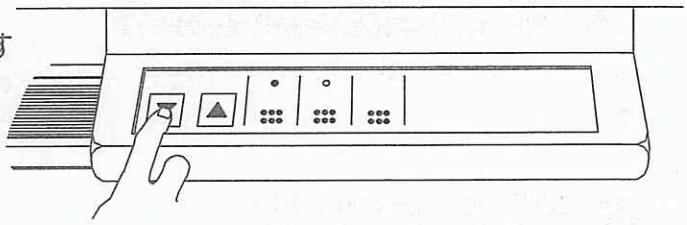
故障の原因になります。

【4．昇降動作の確認】

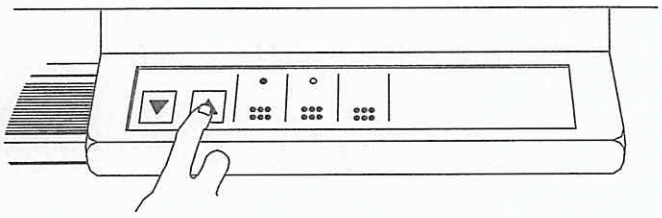
●操作部の電源スイッチ部を手で一回触れて電源ランプが点灯することを確認してください。
（点灯する際に「ピッ」とブザー音でお知らせします。）



●操作部の▼（下がる）部を手で軽く触れ、昇降棚が下降することを確認してください。昇降棚が下端まで下降するか、あるいは手を離すと停止します。この時、扉は昇降棚の下降に連動して開きます。



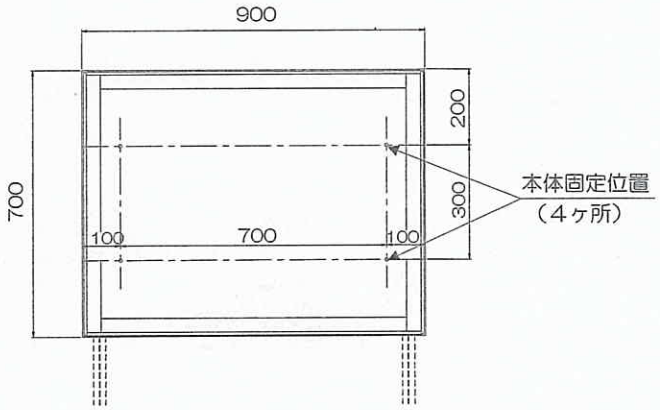
●操作部の▲（上がる）部を手で軽く触れ、昇降棚が上昇することを確認してください。昇降棚が上端まで上昇するか、あるいは手を離すと停止します（オートモードに電源が入っていない場合）。この時、扉は昇降棚の上昇に連動して閉まります。



【5．本体の固定】

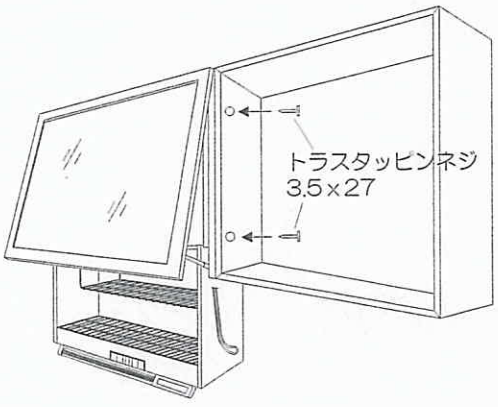
●昇降棚を下降させた状態で、本体を付属のネジ（トラスタッピンネジ4.5x60）で壁に4カ所確実に固定してください。（固定位置には、下穴があいています。）

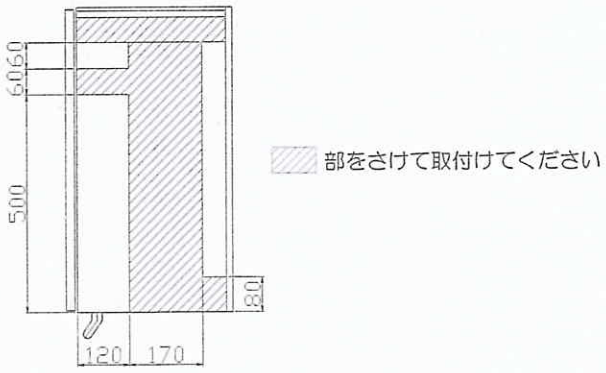
注）下地の木質桟がネジバカにならないようしっかり固定されていることを確認してください。



【6．隣接する吊戸棚と本体の連結】

●隣接する吊戸棚と連結する場合は、隣接する吊戸棚の付属ネジ（トラスタッピンネジ3.5x27）でスキがでないように連結してください。ただし、取付位置は下図の連結不可範囲をさけて取付けてください。

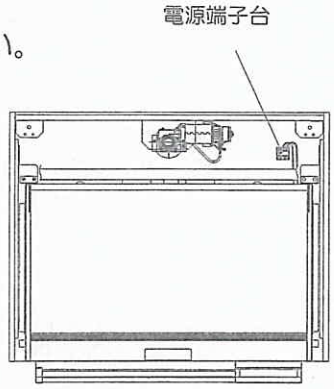




＜連結ネジ不可範囲＞

9. 電気配線

●元電源（分電盤のブレーカー）が「OFF」になっていることを確認してください。



【1．仮設プラグの取りはずし】

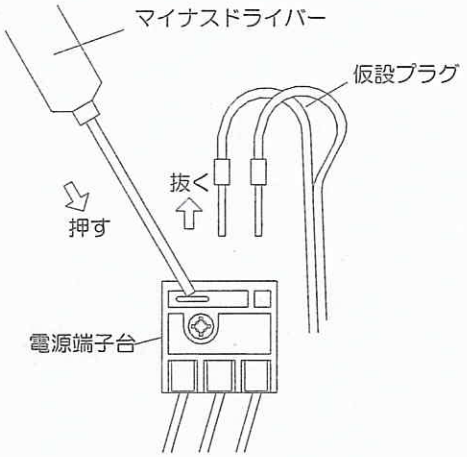
●仮設プラグをコンセントから抜き取ります。
●電源端子台から仮設プラグを取りはずします。取りはずした仮設プラグは必ず破棄してください。
●マイナスドライバー等で下図の部分を押しながら取りはずします。

お願い
●無理にケーブルを引っ張らないでください。

⚠ 注意

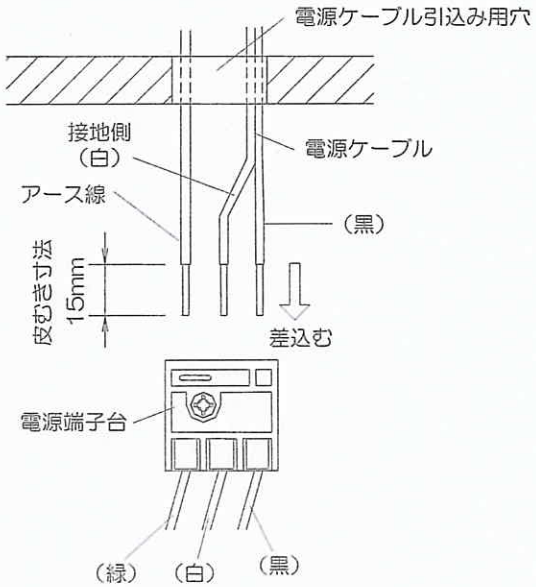
仮設プラグで本配線しないでください

火災の原因となります。



【2．電源ケーブル・アース線の接続】

●電源ケーブル・アース線を本体内に引込みます。
●電源ケーブル・アース線はVVFケーブル（φ1.6またはφ2単線）を使用し、被覆部まで確実に差し込んでください。
接続後、ケーブルを引っ張って接続が確実かどうか確認してください。



お願い
●電源端子台はφ1.6～φ2の単線専用です。より線は絶対に使用しないでください。
●電源ケーブル・アース線は、被覆を適正量むき電源端子台に被覆部まで確実に差し込んでください。
●電源ケーブル・アース線は本体内には、たるませないでください。
●電源端子台以外の配線部には絶対触らないでください。

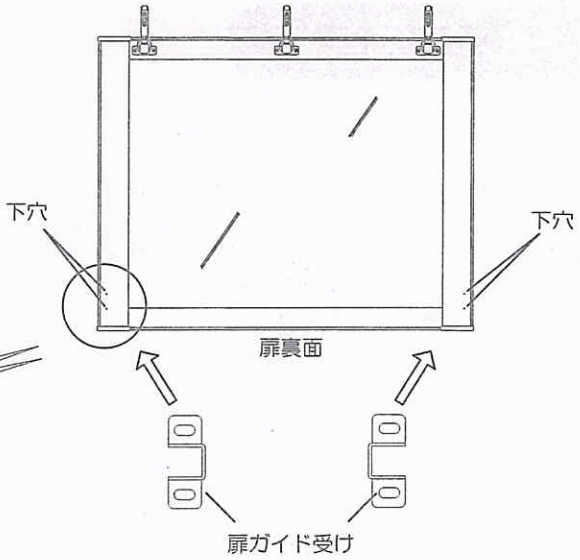
接触不良やショートの恐れがあります。

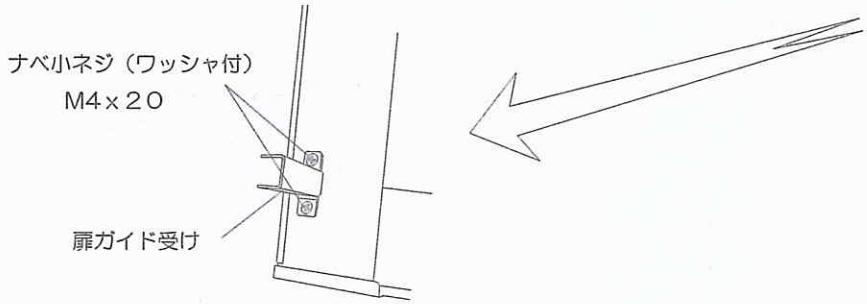
１０．扉の取付

本項目は、ガラス扉別梱包仕様のみの作業になります。

【１．扉ガイド受けの取付】

●ガラス扉裏面の下穴に付属の扉ガイド受けをナベ小ネジ（ワッシャ付　M4×20）で確実に取付けてください。取付方向は右図を参照してください。



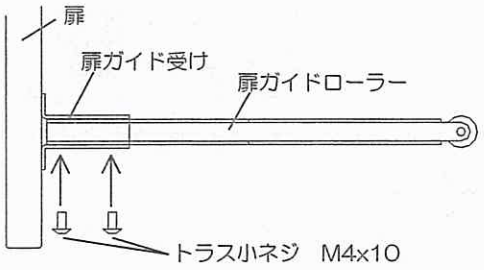


お願い

●扉ガイド受けは長穴になっています。長穴の中央にネジがくるようにして平行に取付けてください。

●ガラス扉裏面の保護シートははがさないでください。

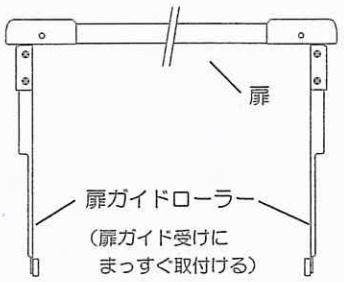
ガラス裏面を手で触ると汚れが取れにくくなります。



【２．扉ガイドローラーの取付】

●扉ガイド受けにトラス小ネジ（M４×10）で扉ガイドローラーを取付てください。

取付方向は右図を参照してください。

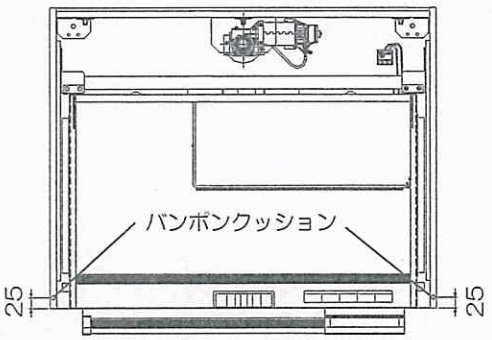


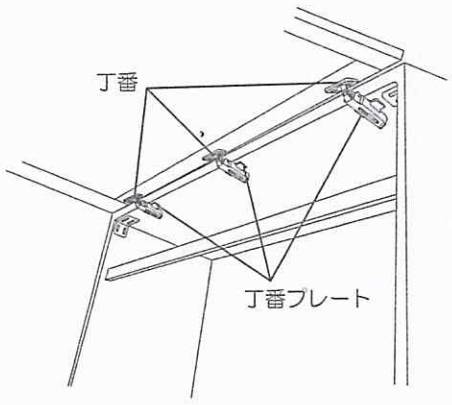
【３．キャビネット本体への取付】

●付属のバンポンクッションをキャビネット本体の右図の位置に貼付けてください。

●ガラス扉の丁番をキャビネット本体の上部に取付けてある丁番プレートに取付けてください。

丁番を丁番プレートにかぶせるようにして、カチッと音がするまで押しこんでください。





設置完了後、扉の丁番がしっかり固定されているか必ず確認し、ゆるんでいる場合は取付けなおしてください。

扉が脱落してけがをする恐れがあります。

お願い

●ガラス扉を取付ける場合は昇降棚を下降させた状態で作業してください。

昇降棚が最上部にある場合は扉ガイドローラーが昇降棚のガイドに干渉して扉が閉まりません。

●昇降棚のガイド面にローラーが乗るように調整してください。

（調整方法は、11．扉・扉ガイドローラーの位置調整【2.扉ガイドローラーの調整方法】を参照してください。）

●ガラス扉を取付けた後、ガラス扉裏面に貼られている保護シートを取り外してください。

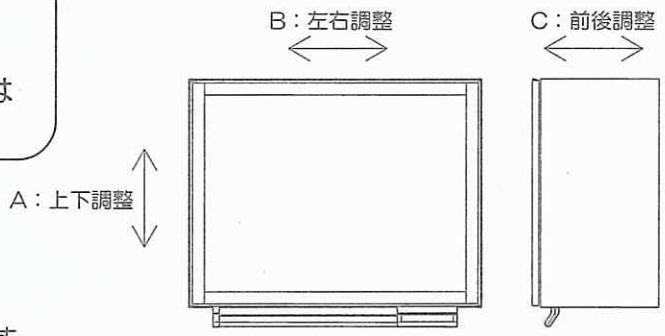
11．扉・扉ガイドローラーの位置調整

●扉の傾き・隣接する吊戸棚との左右の隙間など調整が必要な場合は以下の方法で調整してください。

お願い

●扉を調整する場合は昇降棚を下降させた状態で作業してください。

昇降棚が最上部にある場合は耐震ロック機構がはたらいていますので扉が僅かしか開きません。



【1．扉の調整方法】

＜上下調整＞

Aのネジを調整することにより扉が上下に動きます。

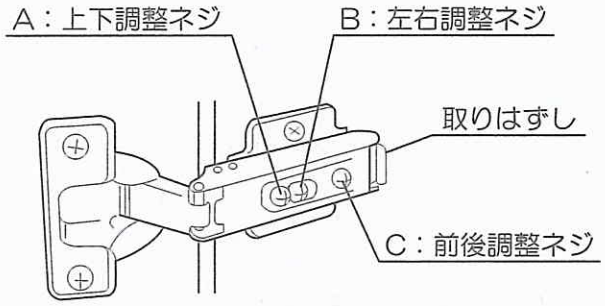
＜左右調整＞

Bのネジを緩めることにより扉が左右に動きます。

＜前後調整＞

Cのネジを緩めることにより扉が前後に動きます。

注）調整後は緩めたネジを必ず締めなおしてください。



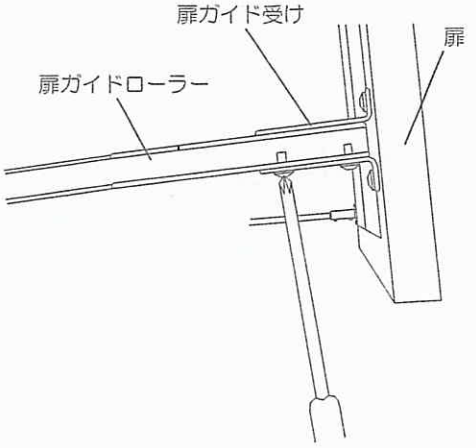
【2．扉ガイドローラーの調整方法】

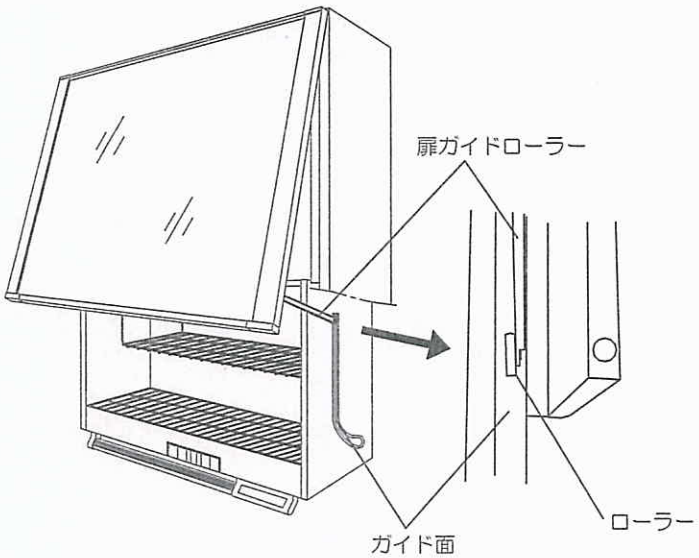
●扉ガイドローラーを固定しているネジをゆるめ、昇降棚のガイド面の中央にローラーが乗るように調整してください。
扉ガイド受け・扉ガイドローラーが昇降棚や本体に干渉したり擦れていないか確認してください。

お願い

●扉ガイドローラーを調整した後、扉ガイド受け・扉ガイドローラーを固定しているネジを再度締めつけてください。

ネジが緩むと、扉ガイドローラーがガイド面から脱輪し、扉破損の原因になります。





１２．キッチン設置部材の取付

【１．エンドパネルの取付】

●エンドパネル付属の設置説明書にしたがって取付けてください。

【２．見切り・間口調整フィラーの取付】

●見切り・間口調整フィラー付属の設置説明書にしたがって取付けてください。

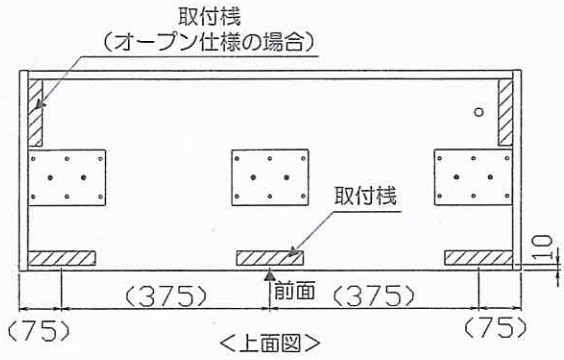
【３．天井幕板の取付】

●取付桟（20~25mm角のラワン材等を120mm程度に切断したもの：現地手配）を必要数用意し、所定の位置に本体の内面からネジで取付けてください。

⚠注意

取付桟の外面からのネジ止めや接着はしないでください。

修理・交換ができなくなります



●天井幕板付属の設置説明書にしたがって取付けてください。

１３．試運転

●元電源（分電盤のブレーカー）が「ON」になっていることを確認してください。

【１．取付状態の確認】

●製品の取付にグラツキがないことを確認してください。
●扉の丁番がしっかり固定されていることを確認してください。

【２．昇降動作の確認】

●昇降棚の昇降に連動して、扉が開閉することを確認してください。
●昇降棚の動作が下端・上端でしっかり止まることを確認してください。

操作方法については 8．本体の取付 【４．昇降動作の確認】を参照してください。

【３．照明の確認】

●ランプカバーを取りはずし、蛍光ランプがついていることを確認してください。
（ランプカバーのテープをはがした後の取りはずし方は、ランプカバーの側に貼られているシールを参照してください。）
●操作部のランプスイッチ部に手で触れ、照明が点灯することを確認してください。

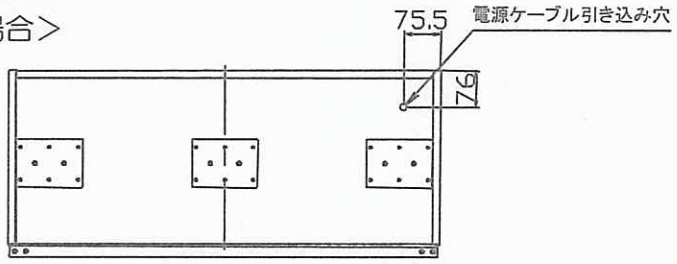
【４．同梱部品の設置】

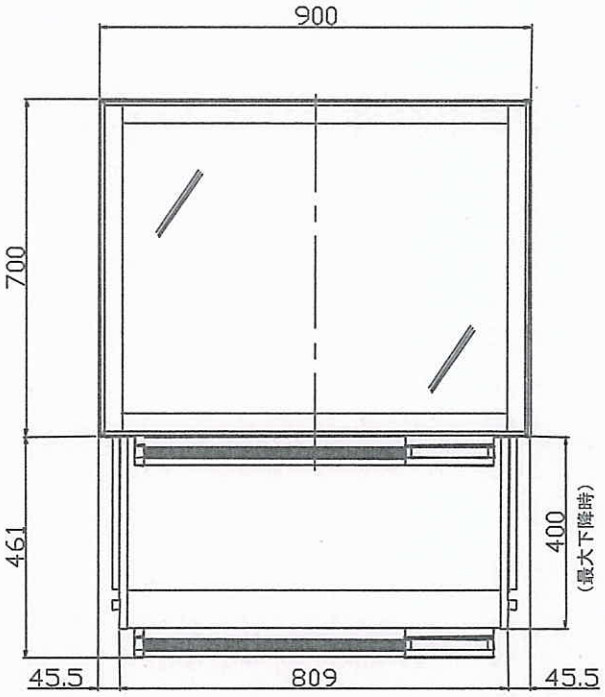
●昇降棚内にテープ貼りされている棚板・水受けトレーのテープをはがしてください。

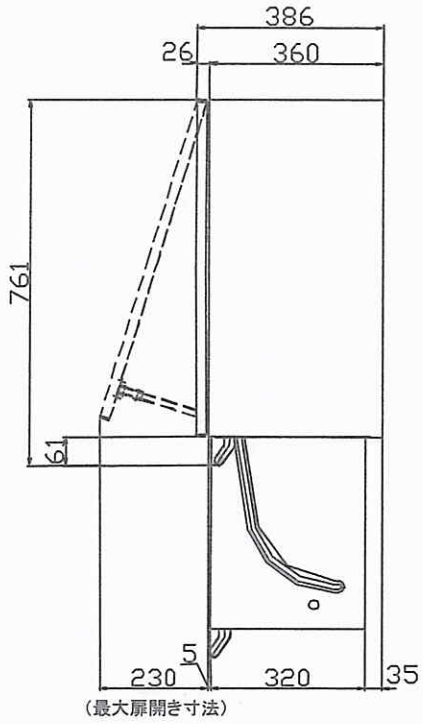
１４．外形寸法

（単位：mm）

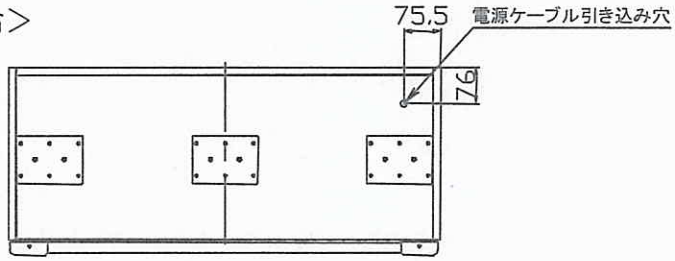
＜アルミ枠扉仕様の場合＞

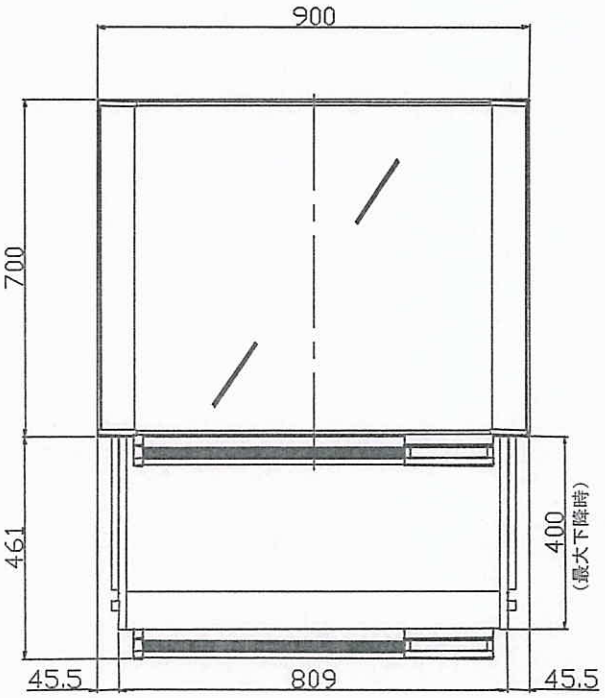


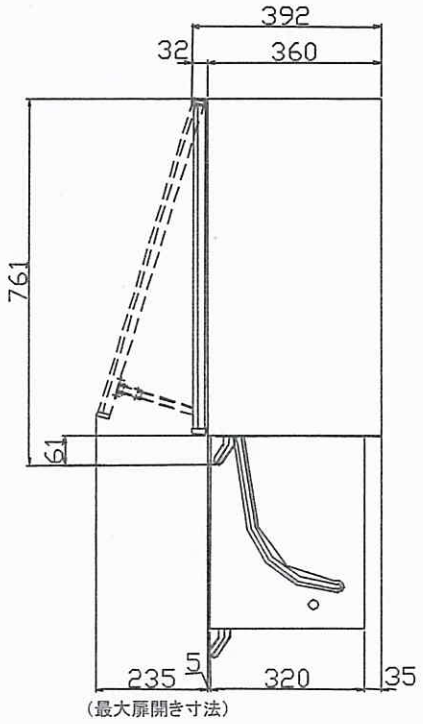




＜ガラス扉仕様の場合＞







タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鴫野東１丁目２番１号
TEL ０６－６９６２－１５３１

152633
2B-2